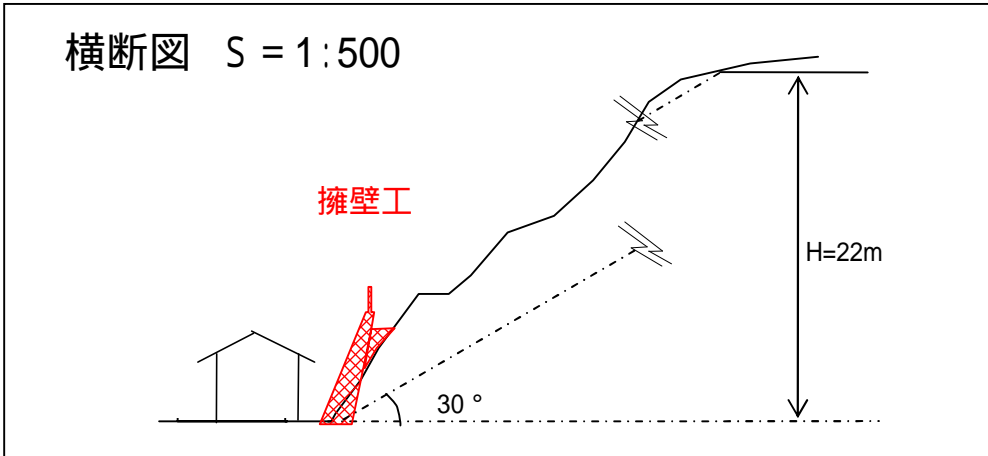
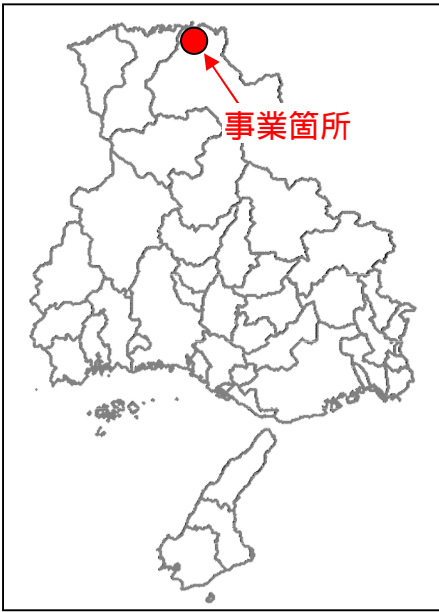


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 (鶴崎 尚夫)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	2.0 億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>あしんだに</small> 芦谷(1)地区	豊岡市竹野町 <small>あしんだに</small> 芦谷	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市竹野町芦谷				H23	H26
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家や避難所、市道等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 340m 〔負担割合 国 : 45.0% 県 : 45.0% 地元 : 10.0%〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔地区の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> 竹野総合支所から南南東約2.4kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 斜面は、表層崩壊跡や、オーバーハングの箇所がある危険な状態。 				
〔保全対象等の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> 延長340m、幅30mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 人家10戸、公民館(避難所)、市道(約240m) 				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められる。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 				
〔事業執行環境〕	<ul style="list-style-type: none"> 事業の同意を得ているため借地に問題はない。 工事予定箇所付近には市道があるため、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象には、避難所に指定されている公民館があり、早期着手に対する地元要望も強い。 <p>以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>				



箇所名 | 芦谷(1)地区